



ゲストインタビュアー 大沢 樹生

「まずは、山村社長が歩んできた道のりから伺います。」

石川県の生まれで、すぐに名古屋へ移り、こちらで育ちました。大学時代は様々なアルバイトを経験しましたが、細かな作業があまり得意ではなく、「自分に合う働き方は何だろう」と悩んだ時期もありました。周囲が次々と大手企業へ就職していく中で不安が募りましたが、「個人でできる仕事なら自分にも可能性があるのでは」と考え、塾講師を志しました。教える力を身につければ、将来的に独立もできるのではないかと考えたのです。

「塾講師になってみて、いかがでしたか。勤めた塾は「叱って伸ばす」方針でしたが、私は「褒めて伸ばしたい」という思いが強くなり、なかなか馴染めませんでした。次第に自信を失い、退職することに。その後、同級生からベンチャー企業への誘いを受けたのです。当時は公務員を目指すことも考えていましたが、以前の上司から「どこへ行っても通用しない」と言われた悔しさが残っていました。人生は一度きり。3年間全力で頑張った挑戦し、それでも駄

目なら安定した道へ進もうと決め、ベンチャー企業に入社しました。

「そちらの企業は、どのような仕事内容だったのでしょうか。」
訪問営業の会社でした。お客様に叱責されることも珍しくない、厳しい環境でしたが、「全力でやる」と腹をくくっていたこともあり、精神的にも鍛えられ、成績を伸ばすことができました。数年後には岐阜拠点の責任者となり、20〜30名の組織を率いる立場に。しかし、成果が十分に報酬へ反映されない現実もありました。「これでは、自分を信じてついてきてくれる仲間の良い環境を用意できない」と感じ、独立を意識するようになります。その後、知人の経営者から営業会社の組織化を任せられる形で移籍。「努力が正当に報われる会社になりたい」という思いから、組織運営やルールづくりを学び、実践していきました。3〜4名だった組織は30名規模へと成長しましたが、コロナ禍の影響で事業が継続困難となり、退職を余儀なくされました。

「そこから、独立を果たされた経緯といますか？」
「30年後のありがとうを目指して」という御社の理念が素敵だと感じました。この言葉はお客様だけでなく、スタッフにも向けたものです。30年後に「ここで働けて良かった」「一緒にやれて良かった」と自然に言い合える関係でありたい。お客様からも「30年間ありがとう」と言ってもらえるような関係を築けていければ、会社も自ずと継続しているはず。日々の丁寧な

愛知県あま市に拠点を置く『リンクスホーム』。家に関わる様々なプロが揃い、リフォーム業務や外壁塗装、住宅設備、ハウスクリーニング事業などに幅広く対応している信頼の厚い会社だ。本日は俳優の大沢樹生氏が同社を訪問。「30年後のありがとう」を目指して、お客様とも社員とも末永い関係を紡ぐべく励んでいる山村社長にお話を伺った。

30年後のありがとうを目指して 信頼を紡ぐお家のプロ集団



Links Home

リンクスホーム
株式会社

愛知県あま市七宝町秋竹四町田 805-19

URL : <https://links-home.net>

▲スタッフの皆さんを交えて（左）、奥様を交えての記念写真（右）



代表取締役 山村 誠

嬉しいことに、「一緒にやりたい」と言ってくれる仲間がたくさんおり、その縁を大切に、長く続けられる事業は何かと考えるようになりました。これまで携わってきた訪問営業は継続性が乏しく、仲間が長く続けるには負担が大きいです。そこで色々と考えて、行き着いたのが「信頼」と「住宅」というキーワードでした。

住宅は建ててしまえばそれで終わりではなく、時間とともに劣化していきます。リペアやクリーニング、外壁塗装、リフォームなど、継続的な需要があります。そして依頼先として選ばれるのは、信頼できる会社です。一度信頼関係を築けば、長くお付き合いいただける可能性が高い。住宅分野で誠実に向き合い続けられ、お客様とも仲間とも、末永い関係を築けるのではないかと考えました。そこで住宅事業を手掛ける経営者との出会いをきっかけにノウハウを学び、「リンクスホーム」を立ち上げたのです。

「御社ならではの強みは何でしょう。」
「売って終わり」「施工して終わり」という関係ではなく、長期的なお付き合いを前

「30年後のありがとうを目指して」という御社の理念が素敵だと感じました。この言葉はお客様だけでなく、スタッフにも向けたものです。30年後に「ここで働けて良かった」「一緒にやれて良かった」と自然に言い合える関係でありたい。お客様からも「30年間ありがとう」と言ってもらえるような関係を築けていければ、会社も自ずと継続しているはず。日々の丁寧な

対応は、必ず自分や会社に返ってくる。そう信じて、この理念を大切にしています。現在のスタッフ体制について教えてください。

アルバイトを含めて約18名が在籍しています。年齢層は20代後半が中心で、日々よく頑張ってくれています。「最近の若い世代は」と悪く言われることもありませんが、私はそうは思いません。皆が当社の理念を深く理解し、「この会社のために」と主体的に動いてくれていると感じます。そのことが何より嬉しいですね。そして「この会社で長く働きたい」と思ってくれていることに、感謝しています。

最後に、今後の展望についてお聞かせください。

当社が目指しているのは、地域に愛される会社とすることです。例えるなら、住まいの総合窓口のような存在。「家のこと」で困ったら「リンクスホーム」と、真っ先に皆様が思い出してくださいる存在になりたい。知名度と信頼、そして満足度の高い会社として、地域に根差していきたいと考えています。

After the Interview

「3年間だけ頑張ろう」とチャレンジした営業の仕事をきっかけに頭角を現し、お客様や仲間たちと長く関係を紡げる会社を築き上げた山村社長。その人生に強く共感しましたし、「リンクスホームが人生の転機になるような会社に」という気概にも感銘を受けましたよ。社長の人として、経営者としての器の大きさが窺えた対談でした！」



将来仲間になる後進に向けた 山村社長からのメッセージ

独立前には、次々と成果を挙げながら報われない時期も経験してきた山村社長。だが振り返れば、節目ごとに支えてくれる人との出会いがあったという。「素晴らしい方々に出会えたからこそ、今がある」と語る社長。だからこそ今思い描いているのは、『リンクスホーム』が誰かにとって人生の転機となる会社になることだ。「人生を変えたい」「本当はもっとできるはずなのに」——そんな思いを胸に、力を持て余している人の気持ちはよく分かる。自分自身が、かつてそうだったからだ。だからこそ、同じように可能性を持ちながら踏み出せずにいる人の背中を押せる会社でありたい。『リンクスホーム』は、それができる会社だと本気で思っていますので、ぜひ、仲間になってほしいですね——このように社長は、後進に向けたメッセージを送ってくれた。